

▼レイアタツカプセル [内] (202403 販売中止)

【重要度】 【一般製剤名】 アタザナビル硫酸塩 (U) Atazanavir Sulfate (ATV) 【分類】 抗 HIV 薬 [PI]

【単位】 ▼150mg・▼200mg/Cap

【常用量】 300mg+リトナビル 100mg [リトナビルが適用できない場合 400mg/日]

【用法】 1日1回 [食事中または食直後]

【透析患者への投与方法】 減量の必要はないが、抗 HIV 薬による治療経験のない患者のみに適用し、リトナビルと併用する (1)

【その他の報告】 減量の必要なし (17,サンフォード感染症治療ガイド)

【PD】 データなし (12,17)

【CRRT】 データなし (12,17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (1,サンフォード感染症治療ガイド)

【その他の報告】 GFR 50mL/min 未満でのデータなし (12,17)

【特徴】 1日1回投与型の PI。脂質に対する影響が少ないとされる。

【主な副作用・毒性】 肝機能障害、尿細管間質性腎炎、高血糖、出血傾向、QT 延長、AV block、SJS、頭痛、末梢神経障害、胆石症など多数

【F】

【tmax】 2.5hr (U)

【代謝】 CYP3A で代謝され、CYP3A と UGT1A1 を阻害する (U)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 7%、尿中回収率 13% (U) 尿中未変化体排泄率 7% (12) 糞便中未変化体排泄率 20%、糞便中回収率 79% (U)

【t1/2】 7hr (U,12)

【蛋白結合率】 86% [AAG とアルブミンに結合] (U,12)

【Vd】 不明 (12)

【MW】 802.93

【透析性】 蛋白結合率が高いため、透析されにくいと思われる (1)

【O/W 係数】 646 [1-オクタノール水系, pH3.3] (1)

【相互作用】 CYP3A4, UGT を阻害し、併用禁忌や注意薬が多数ある (1) PPI 併用により溶解度が低下して AUC 低下 (1)

【更新日】 20230626

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。